

家庭科学習指導案

平成29年2月3日（金）第3校時 （被服室）6年3組 指導者

- I 題材** 家族への贈り物をつくろう
II 考察
III 目標及び評価規準
IV 指導計画 ※III・IVについては、指導と評価の計画参照
V 本時の学習

- 1 ねらい 製作する物の布端の処理の仕方の到達度と照らし合わせて、仕上がり具合を確認しながら布端を縫うことを通して、ミシンを用いて贈り物をきれいに縫うための布端の処理ができる。
- 2 準備 家族への贈り物の見本
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<ol style="list-style-type: none"> 1 本時のめあてをつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・クッションカバーは、はちまきのとときと同じで、2枚の布を重ねて縫うから、三つ折りはしなくてよさそうだな。 ・「縫う位置」は縫いしろ線上をまっすぐ、「返し縫い」は2cm程度で端までしっかりとだな。 2 布端をミシンで縫う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「縫う位置」は見本と比べても同じような位置を縫っているから到達度は○だけど、見本の「返し縫い」をよく見ると端までしてあるのだな。ぼくの「返し縫い」は、端までしっかりとできていないな。 ・○○君は、「返し縫い」をしたとき、「縫う位置」がずれてしまったと言っているから、「返し縫い」をしても「縫う位置」がずれない方がきれいに仕上がりそうだな。 ・「返し縫い」をしても「縫う位置」をずらさないようにするには、縫うときに布をしっかりと押さえるとよいな。 ・「返し縫い」をするとき、「縫う位置」がずれないように重なるようにして端まで縫ったら、確かにきれいになったぞ。 3 本時のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・1辺が縫えたら、自分と同じ贈り物を製作する友達と縫い方を確認したから、きれいに縫えたよ。 ・この縫い方で家族への感謝の気持ちを伝える贈り物の製作を進めたら、きっと家族が喜ぶ物ができあがるから、早く贈り物の製作を進めたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族への感謝の気持ちを伝える贈り物をきれいに縫うための布端の処理の仕方を想起できるように、これまでにエプロンやはちまきの製作で身に付けた布端の処理の仕方を問いかける。 ○到達度に照らして自分の縫い方を振り返りながらミシンで縫うことができるように、具体的に気を付けることを問いかける。 ○製作する物に合う布端の処理の仕方を繰り返し見返せるように、自分の縫い方と見本の縫い方を見比べながら縫うよう促す。 ○自分の縫い方の仕上がり具合を把握できるように、目標とする状態に対する到達度を問いかける。 ○製作する物に合う布端の処理の仕方を身に付けることができるように、自分の到達度にした理由を友達と伝え合うよう促す。 ○到達度が十分でない子どもには、布端の処理ができるように、布の重ね方や三つ折りの仕方を助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">ミシンを用いて製作する物に合わせた布端の処理をしている。 <活動・発言(1)></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○互いの縫い方や自分の到達度にした理由を話し合うことよさを自覚できるように、協力して製作する物に合う布端の処理をしていることを賞賛する。 ○次時への見通しをもつことができるように、次時は自分の縫い方を振り返りながら、家族への感謝の気持ちを伝える贈り物の製作を進めることを伝える。

指導と評価の計画（全8時間）

目標	これまでに身に付けた知識や技能を用いて、家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を製作し、感謝される喜びや共に使う楽しさを味わう。			
評価規準	<p>(1 知識・技能) 製作に必要な材料や用具の取扱い方、製作の手順が分かり、これまでに身に付けた手縫いやミシン縫いの技能を用いて、家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を製作できる。</p> <p>(2 思考力・判断力・表現力等) 家族への感謝の気持ちを伝える贈り物の製作に向けて、これまでに身に付けた知識や技能を用いて製作可能なものを考えている。</p> <p>(3 学びに向かう力・人間性等) これまでに身に付けた知識や技能を用いて製作することに関心を持ち、家族への感謝の気持ちを伝えたり、共に使う楽しさを味わったりしようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
見 つ め ・ つ か む	1	○家族への感謝の気持ちを伝える贈り物の製作について話し合い、課題をつかむ。 課題：「家族への感謝の気持ちを伝える贈り物をきれいに作るには、どのように縫うとよいのだろう。」	○自分ができるようになったことを振り返ることができるように、これまでの題材の写真や製作してきた物を提示する。	◇自分ができるようになったことの中から、家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を製作するために用いることができることを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言(2)>
	家庭	○家族の生活に役立つ物は何か、家族に聞いたり、観察して考えたりする。		
追 究 す る	1	○家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を決める。	○自分ができるようになったことを用いて、家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を考えられるように、これまでに製作してきた物や、それらと同じ縫い方で製作できる物の見本を用意する。	◇自分ができるようになったことを用いて製作できる、家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言(2)>
	1	○製作計画を立てる。	○製作の手順について理解できるように、見本で用意した作品ごとに、製作する大まかな活動の流れを提示する。	◇製作する物の大きさやデザイン、製作に必要な材料や用具、製作の手順などの製作計画を記述している。 <学習プリント(1)>
	家庭	○必要な材料や用具を用意する。		
	1	○布端の処理の仕方を試す。(本時)	○製作する物に合わせた布端の処理の仕方を身に付けられるように、同じ物を製作している友達と、目標とする状態に対する到達度の理由を伝え合う活動を設定する。	◇ミシンを用いて製作する物に合わせた布端の処理をしている。 <活動・発言(1)>
	3	○家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を製作する。	○計画に沿って家族への感謝の気持ちを伝える贈り物をきれいに製作していけるように、製作する物それぞれについて、製作の手順と布端の処理の仕方を提示する。	◇製作する物に合わせた布端の処理の仕方家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を製作している。 <製作・学習プリント(1)>
ま と め 広 げ る	家庭	○贈り物に対して、家族からメッセージをもらう。		
	1	○家族への感謝の気持ちを伝える贈り物や、家族からもらったメッセージについて話し合う。	○家族への感謝の気持ちを伝える贈り物を製作し、感謝される喜びを味わったり、布を用いた生活に役立つ物を製作する意欲をさらに高めたりできるように、話し合う際の観点として、「家族へ贈り物をしたよさ」を提示する。	◇家族へ贈り物をしたよさを基に、家族に贈り物をしたり、メッセージをもらったりした感想を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言(3)>